

支・励・睦

校訓『自主・創造・友愛』
稲美町立稲美中学校 学校便り「支・励・睦」

《第 8 号》 令和7年10月1日 発行

文責：学校長 奥 陽一

百花繚乱のその先へ — 体育祭が教えてくれたこと

先日の体育祭、素晴らしい一日でした。青空の下、皆さんの全力の姿を見ることができました。終了後、多くの生徒が「最高だった」「感動した」と言ってくれました。その言葉を聞きながら、私はこう考えていました。

この「体育祭」を、どうやってこれからにつなげるか。

体育祭までに、私は何度か「百花繚乱」というテーマについて話しました。一人ひとりが持つ個性という花を咲かせてほしい、と。そして皆さんは、見事にそれを実現してくれました。

まず、皆さんに伝えたいのは、体育祭当日の話ではありません。その前日の、ほとんど誰も見ていなかった光景の話からはじめましょう。

誰も見ていないグラウンドで

体育祭前日の準備。多くの生徒が下校した後、まだ残暑の残るグラウンドで、何人かの生徒が黙々と白線を引き続けていました。真剣な表情で、一心不乱に。誰に言われたわけでもなく、誰に見せるためでもなく。放送の準備では、別の生徒が機材を丁寧に点検し、片づけていました。明日、この舞台上で走る仲間のために。声援を送る仲間のために。

私はその光景を、グラウンドや校舎から静かに見ていました。そして思いました。これこそが「本気」なのだと。派手ではないけれど、誰かのために心を込める。それが本物の力なのだと。

「本気の気持ちは人を動かす」

体育祭後、3年生の応援団長がこう書いてくれました。

応援団長という全校生徒をひっぱる立場の重みは想像以上でした。自分の思いが伝わらない、チームが一つにならないことで何度も悩みました。しかし、自分の目標であった日本一の体育祭にする思いは決して消えることなく、心が折れることはなかったです。(中略)学んだことは、「本気の気持ちは人を動かす」ことです。本気が伝わった時、人は心を動かされ行動に変えてくれる。

— 3年生応援団長の感想(一部抜粋)

彼も最初から思い描いていた通りだったわけではありません。「思いが伝わらない」「チームが一つにならない」と悩んだと書いています。でも、諦めなかった。本気で向き合い続けた。その姿勢が、やがて周りの心を動かしていったのです。そして、2年生の女子生徒がこう書いてくれました。

今日、美しい体育祭になったのは、開始前の団長の話があったからだと思います。(中略)体育祭にかけの思いが強かったからこそその言葉だと感じました。来年は私たちがひっぱる側になるので、団長のような強い思いがかけられるくらい練習から全力で・・・今日からがスタートです。

— 2年生女子の感想(一部抜粋)

3年生の本気が、2年生に飛び火していく。そしてその炎は、来年へと受け継がれようとしています。これが、大切にすべき本来の「伝統」なのです。形式や規則ではない。本気で向き合う姿勢が、次の世代の本気を生む。この連鎖こそが、私たちの財産なのです。

「百花繚乱」を、もう一度考える

さて、ここからが本題です。体育祭は終わりました。でも、「百花繚乱」は終わらないと思っています。むしろ、ここからが本番でしょう。体育祭当日、応援団として前に立ち、全校をリードした人がいました。確かに、その姿は眩しかった。でも私は、別の「本気」も見ていました。

走るのが得意ではないけれど、仲間のために必死で声を出していた人。放送での記録を間違えないよう集中して行っていた人。熱中症にならないよう、そっと仲間に水を渡していた人。

大輪のバラもあれば、小さな野の花もある。でも、どちらも本物の花です。それぞれの咲き方で、それぞれが景色を作っている。百花繚乱とはそういうことではないでしょうか。

だから、こう問いかけたいのです。君は、これからどんな花を咲かせたいですか？

日常という舞台で

体育祭という特別な日は、花が咲きやすい土壌でした。みんなが見て、応援している。だから、頑張れた。それは素晴らしいことです。でも、本当の力とは、誰も見ていない日常でも発揮できる力のことです。

例えば、清掃時間。「今日は誰も見ていないから・・・」と思うか、「誰も見ていなくても、明日使う人のために丁寧に」と思うか。選択の積み重ねが、君という人間を作っていきます。例えば、授業中、「面倒だから黙っていよう」と思うか、「自分の意見を言うことで、話し合いが深まるかもしれない」と思うか。小さな勇気が、誰かの学びを豊かにします。例えば、委員会活動。「やらされている」と思うか、「この活動が学校をより良くしている」と思うか。その意識の違いが、活動の質を変えます。

体育祭で学んだ「**本気の気持ちは人を動かす**」という真理を、日常でこそ発揮してほしいのです。

3年生から2年生へ、2年生から1年生へ

2年生の感想に「来年はひっぱる側になる」という言葉がありました。これは、とても重要な気づきです。リーダーシップは、生まれつきの才能ではありません。3年生も、2年前は今の1年生と同じでした。先輩の背中を見て、学んで、失敗して、それでも諦めずに続けてきた結果が、今の姿なのです。

2年生の皆さん、来年の体育祭、いや、明日からの生活で、君たちが中心になる場面が増えます。完璧でなくていい。3年生のように悩んでいい。大切なのは、「後輩のために本気になれるか」です。君たちの本気が、次の本気に火をつけます。

1年生の皆さん、体育祭で、先輩たちの姿をどう見ましたか？「すごいな」で終わらせないでください。彼らも最初は君たちと同じでした。「自分も、あんな風に」と思ったなら、今日からできることを始めましょう。挨拶、清掃、授業への参加。どんな小さなことでもいい。その積み重ねが、2年後の君を作ります。

3年生の皆さん、体育祭での皆さんの姿は、確実に後輩たちの心に刻まれました。でも、皆さんの役割はまだ終わっていません。残り半年、日常の中で、「本気で生きる」姿を見せ続けてください。それが最高の伝統です。



保護者の皆様へ

先日の体育祭では、多くの皆様にご来校いただき、温かいご声援をいただきました。心より感謝申し上げます。当日の生徒たちの輝く姿は、ご家庭での日々の励ましや支えがあってこそのものであります。今回は、体育祭を通じて生徒たちが学んだことを日常へとつなげていく本校の方針をお伝えしました。ご家庭でも、ぜひお子様と体育祭での経験や学びについて対話していただければ幸いです。「どんな場面で頑張れた？」等の問いかけが、お子様の振り返りを深め、次の成長へとつながります。今後も、学校と家庭が手を携え、生徒たちの成長を支えていきたいと思っております。



10月の行事予定



- 1日(水) 全校委員会
- 2～3日 中間テスト
- 4日(土) 郡新人大会(陸上競技)
- 8日(水) 学力テスト(3年)
- 9日(木) 給食なし(体育祭順延対応)
- 10日(金) 学校運営協議会
- 17日(金) 音楽コンクール・文化祭
- 18～19日 東播地区新人大会

- 24日(水) 音楽コンクール学校代表発表(コスモホール)
- 25日(土) 総体東播地区駅伝大会(陸上競技)
- 28日(火) 加印連合音楽会(吹奏楽)
- 29日(水) 兵庫県中学校教育研究会英語部会研究会(給食なし)

